

IBM量子コンピュータ見学

日時：令和6年1月17日（水）13時～

場所：日本IBM新川崎事業所

開催に先立ち、下村様からIBMの社会貢献についてと、本日ご参加いただく社員様のご紹介がありました。

次に久保様から本日の進行についてご説明をいただきました。



そして、昨年度10月のスタートアップ講話（工科短期大学校で実施）にお越しいただいた森本副社長から、ご講話をいただきました。

学生は「量子コンピュータの技術が様々な分野で使われることになる約10年後、この技術を使いこの技術と共に成長していく人たち」であり、子供と思わず前回も本日もお話いただいているとのことで、学生も大きな刺激を受けた様子でした。



その後グループに分かれて、社員の方々とラウンドテーブル（グループセッション）が行われました。社員の方々から様々なお話を聞くことができました。



そしていよいよ、量子コンピュータの見学へ！
グループごとに建物を移動し、量子コンピュータが稼働する、温度管理された室（けっこう寒い）に向かいました。



始めに、永田様から、量子コンピュータの動作や冷却の原理などについて、精巧に作られた実物大のレプリカも用いながらご説明をいただきました。



そして、日本で1台しかない、稼働している 127 量子ビットの量子コンピュータを見学しました。この筒のようなものが、稼働している量子コンピュータです！



学生の感想等（抜粋）

- ・森本さんのお話を聞き、将来量子コンピュータを扱うのは僕たちなのだ実感しました。副社長のお話を聞くことは普通ではできないと思うので、ためになりました。
- ・実際に量子コンピュータを見て、小さなプロセッサを絶対零度まで冷やすことによって今までのコンピュータができなかったこともできるようになることを知って、すごいと思った。
- ・温度を絶対零度に近づけるための仕組みがかなり複雑で難しかったです。理解できるように勉強などがんばりたいと思いました。
- ・量子コンピュータを実際見てみて、あんなに大きい物とは知らなかったので驚きました。また、あれだけ大きい量子コンピュータを動かす電力がとても少ないと知り、それも驚きました。
- ・量子コンピュータのような精密な機械を整備できたりするように、基礎知識を深めて応用していきたいと思いました。
- ・社員の方でもあまり量子コンピュータを見ることができないとお聞きしたので、とてもいい経験ができたと思いました。
- ・グループセッションで、社会に出たら会話力が大事だと教えてもらったので、本を読んだり、ニュースを見たりなどして、会話の引き出しを多くしていきたいと思いました。
- ・実際の社員の方に話が聞けてよかったです。いつからでも頑張ることが大事だと思いました。
- ・今回の社員の人たちの話を聞いて、落ち込んだりしても頑張りたいと思いました。
- ・グループセッションで、自分の進路には様々な可能性があると感じることができました。
- ・社員の方が言っていた「色々なことにまずは挑戦する」ことを意識して生活していきたいと思いました。